

道路大會の後に來るもの

武井群嗣

待望の道路大會、その第一回が大阪に於て開かれることは、我が路政史上正に劃期的事實であると謂はねばならぬ。道路に關する學者經驗家、官吏々員、事務技術職員、篤志家利害關係者の一千名が、皇國版圖の各地方から參集し、一堂に會して討議討論を交え研究發表を爲し、更に分れて各地の視察に向ふと謂ふことは、其の間若干のお祭り騒ぎ的情調の漂ふものがあるとは言へ、古來先人の未だ會て企て及ばなかつた事であるだけに、吾人は之に甚大の關心を有ち非常の興味を之に注ぐものであると共に、本會が疑もなく大成功裡に終始せられんことを庶幾ふものである。

然らば、何が道路大會を開くに至らしめたか、又何が一千名の大衆を一堂に集める動機となつたのか。思ふに、産業文化の中心地たる大阪市を開催地に選んだことは其の一であらう。時は今肥馬高天の秋であることも其の一であらう。視察地たる近畿地方の風物と其の地方當局の歡待とが諸人士の氣を引くことも其の一であらう。が然し、それだけで千名の多數を全國から集めることは出来ない。假令出來ても、それを道路大會の名に於てすることは不可能であらう。そこで私は思ふ。之は全く時勢の力である。道路の重要性と之が改良の緊急性とが現代經濟の要望する所となつて來たが爲に外ならぬ。若し吾等が數年前乃至十數年前に於て道路大會などと云ふ名を以て一の會合を企てたと想像しても見よ。恐らくそれは無謀の譏りを受け世人の冷笑裡に葬り去られたことであらう。

私は今回の道路大會が盛會と成功の裡に終了することを信じて疑はない。そこで此の大會の後に來るべきものを想定し且その實現を希望しようと思ふ。

その一は道路大會の開かれた第一日即ち十月二十五日を以て全國道路記念日と定めることである。毎年十月二十五日を以て所謂道路デーとすることである。そして此の日を機として、(イ)全國道路大會其の他道路に關する集會を催し、以て現代道路の使命及必要を一般公衆に了解せしむると共に、道路の改良及愛護に關する政府及地方當局の計畫及事業に對する一般民衆の協力を求め、又私人及私的團體の道路愛護事業の獎勵を圖る道路改良の速進に努め、(ロ)政府及地方當局は此の日に於て、其の年内に完成したる道路工事の成績を公表し、(ハ)官公私立の大學以下諸學校に於ては、此の日其の學生々徒に對し講演講義、旅行實習其の他適當なる施設を爲し、以て現代に於ける道路の重要並に其の改良愛護の必要なる所以を會得せしむること等々の事項を實施し、以て道路の改良及愛護を全國的運動の一と爲さしめたいのである。而して此の事たる、決して私人の發案ではない。全ラテン・アメリカ諸國に於ては夙に一九二五年の第一回汎米道路會議 (Pan-American Conference of Roads) に於て全國道路デーの創設を決議し、既に議會の協賛と行政各部の同意とを得て大統領令を發し、叙上の事項を施行しつゝあるの實況である。

その二は此の大會を機縁として道路に關する重要なる行政及技術の諸問題を研鑽討論する全國的専門會議の開催されることである。米國には夙に米國道路職員協會 (The American Association of State Highway Officials) なるものが設けられ、毎年各地に總會を開いて幾多重要なる諸問題の研究討論を行ひ實績を擧げて居るが、輒近自動車事故に因る死傷其の

他の損失の夥しき數に上り由々數人道問題となるの傾向を示すに至るや、商務長官自ら主宰して全國道路安全會議 (National Conference on Street and Highway Safety) を召集し、鐵道軌道、保險會社、自動車業者、自動車製造業者、商工業組合、安全協會、各州道路職員及道路委員、地方警察官吏及交通取締官吏、勞働組合、自動車使用者組合、婦人安全協會、技術者、教育者、及一般公衆等の各方面を代表する人々を會合せしめ、交通事故の豫防々止に關する行政及技術に關する各般の事項を研究討議し、其の結果を法制及設備に於て具現することに努めてゐるが、此の會議は一九二四年以來隔年に開かれ、相當の成績を收めて居る。是等の情勢に鑑み、我が國に於ても都市問題に關する全國的大會は夙に大都市に於て開催され、その一部門に於て道路問題の取扱はれたことはあるが、未だ道路及道路交通に關する全國的大會は、嘗て道路改良會が、都市交通會議を開催せんとして準備を進めたるに拘らず遂に實現するに至らなかつた以外に、何等の企てあるを聞かざること既に年久しきものがある。

○

その三は近き將來に於て萬國道路會議を我が國に於て開催することを希望することである。萬國道路會議の使命及構成等に就ては特に之を叙説する必要はあるまい。蓋し本大會參列者に對し主催者より第七回萬國道路會議提出意見書なるものを贈呈する旨の豫告がある位であるから。依つて茲には唯我が政府は右の會議に加盟して居ること、會議は四年に一度開かれること、其の度毎に我が國よりも政府代表を派遣して居ること等を記せば足るであらう。尙その第五回は大正十五年伊太利ミランに於て、第六回は昭和五年米國ワシントンに於て開かれ、第七回は明年獨逸國ミュンヘンに於て開かれること、加盟國は殆んど全世界の各國に及べること、出席者は毎回約二千を數へること等を附言すれば十分であらう。嘗て私は第六回の大會が米國に於て開かれるとき、それに列席する我が代表に對して、政府より「次の第七回會議地は之を

日本東京に於て開催せらるゝことを希望する旨の意見を提出すべき訓令を付與されたならば、どんなにか喜ばしいことであらうと考へた。蓋し昭和九年ともなれば帝都復興の事業は完成を告げ、又大會參列の諸外國人が視察旅行に出かける地方の道路も略々改良されるであらうと豫見したからである。そこで私は今度こそ——明年の大會に出席する我が、政府代表が其の席上に於て「次の會議は日本東京に於て」と演説し得るならば如何程嬉しいことであらうと、今微笑みつゝべンを走らせて居る。

三陸津浪と道路

前川 貫一

非常時突發に際して道路が如何に重要な役割をなすかは、その都度吾人の痛感する所であるが、今春三月三日三陸を襲つた津浪に當つて更にその感を新しくした次第である。當時の被害は岩手、宮城兩縣を通じて死傷者約四千名流失倒壊家屋約五千七百戸その他漁具漁船の流失、耕地の荒廢等極めて甚大に、近來稀に見る悲惨事であつた事は今なほ吾人の記憶に新しい所であつて、災害、土木費國庫補助規定に據る復舊費のみで二日朝四萬圓を算した事實と以てしてもその一斑を推す事が出来るのである、復舊工事中道路橋梁工事關係のものは二百六十三ヶ所、約百萬圓で全工費の約半を占めて居る。津浪は地震に伴ふものとの豫感を以つて逸早く避難せし町村は勿論、襲來を比較的早く知つて避難した町村にあつては